

日本門脈圧亢進症学会診断マイスター応募に関するQ&A

1. 制度の目的と合格基準について

Q：本制度の目的について教えてください。

A：本制度の目的は、技術認定の技術を確立するためには診断能力も必要であり、専門の領域だけでなく専門外の領域を含めた門脈圧亢進症全体の診療技術を向上させることとしています。

Q：どの程度のレベルを評価するものか教えてください。

A：技術認定の技術の習練中のレベルで、門脈圧亢進症の幅広い知識習得と超音波の技術習得を目的としています。

Q：診断マイスター認定テストの合格点を教えてください。

A：原則として70点以上を合格とすることを考えています。

Q：実技講習で不合格になることはありますか？

A：実技講習に不参加や、まじめに実技講習を受けなかった場合には不合格となります。逆に実技講習を普通に参加すれば、不合格になることはありません。

Q：診断マイスター合格者は、技術認定制度新規申請のときに、業績として論文1編（本学会雑誌を含む）が免除されるのは本当でしょうか？

A：業績として論文1編（本学会雑誌を含む）が免除され、論文1編で応募可能です。ただし学会発表3つ（本学会発表1つを含む）については従来通りです。

2. 応募資格について

Q：昨年入会し1年経っていませんが、応募できますか？

A：教育セミナー（3領域すべてを含む）の受講があれば、応募可能です。

Q：教育セミナー（3領域すべてを含む）の受講はありませんが、本年受験は可能でしょうか？

A：本年の第1回の診断マイスター応募については、準備期間が短く、特例として第32回学会総会において教育セミナー（3領域すべてを含む）の受講予定であれば応募可能です。実技講習後にセミナー受講票を確認させていただき正式に合格とさせていただきます。

3. 更新について

Q：診断マイスターは技術認定制度と同様に5年毎の更新制でしょうか？

A：現時点では更新制は考えていません。

2025年5月16日